

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

近年,局地的な豪雨や酷暑など,いわゆる異常気象と呼ばれる現象が各地で発生しており,地球温暖化が,そのような現象の一因であることが指摘されている。地球温暖化が農林畜産業へ及ぼす影響は,生産地域や作物・畜産の種類により大きく異なることが想定される。これらの影響について整理し,地域の農業を持続させるためにはどのようなことが考えられるか,あなたの意見を述べなさい。(800字以上,1200字以内)

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

出題の意図

近年、局地的な豪雨に伴う土砂崩れ、冠水、あるいは、急激な温度変化といったいわゆる異常気象が、農作物へ被害を及ぼし、中山間地域の人々の脅威となっている。このような異常気象と地球温暖化あるいは気候変動との関係について議論が高まる中、今後、地域の農林業を担う人材として、地球温暖化が及ぼす様々な影響について理解を深め、持続可能な地域の農林畜産業の在り方を模索することは、重要な課題であると考えられる。

亜熱帯地域農学科では、(1) 国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人、(2) 地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人、(3) 農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人の入学をアドミッションポリシーとしており、上記の問題を通して、今後の農林畜産業に大きな影響を及ぼすであろう地球規模の問題とその対応策について志願者の関心・知識・想像力を総合的に評価する。